

未来に引き継げる徳島へ。— 知事就任2年の振り返りと未来への展望 —

徳島県知事 後藤田正純
聞き手：フリーアナウンサー 平石香奈子氏

前例踏襲を打破し、新次元の政策を。



人口減少社会に 覚悟を持って挑む

■平石 知事就任から3年目を迎えられましたが、今のご心境をお聞かせください。

■知事 本当にあつという間でした。私が考える「知事」の使命とは、自らが徳島の未来を左右する「経営者」であるという自覚を持ち、さまざまな人や企業、関係機関と連携して政策を推進することで成果を出すことだと思っています。

「ご承知のとおり、徳島県は今後30%の人口減少が見込まれています。つまり、市場も労働力も3割縮小するということです。こうした少子高齢化は日本全体の課題ですが、政治や行政が正面から向き合えているとは言いがたい。私はそれをしっかりと受け止め、この数年が勝負だと

便の就航により、韓国や香港がぐっと近くなりました。まさに徳島の国際化に向けた大きな一歩です。修学旅行などを通じて若者が海外を体験することで、「日本の良さ」や「徳島の魅力」を再認識する機会にもつながります。

まずは県民や企業の皆さまに国際定期便をご利用いただくことで、子どもたちにも「国際化への意識が自然と芽生えていくはず。この環境を未来に向けて持続していくためにも、ぜひ積極的なご活用をお願いいたします。

攻めの姿勢で、笑顔と誇りを徳島に。

世界と渡り合う 土壌をつくる

■平石 国際化に向けた取り組みも、さまざまな場面で成果が見えていますね。

■知事 県では10年先を見据えた構想として、昨年に「徳島新未来創生総合計画」を策定しました。基本理念は「未来に引き継げる徳島」の実現です。未来を担う徳島の若者たちが国際的な視野を持つことは、新しい時代を築くうえで何よりも重要だと考えています。

たとえば、韓国では国民の約6割がパスポートを取得しているのに対し、日本はわずか17%。このままでは、世界と渡り合うことはできません。

そんな中、2つの国際定期

便の就航により、韓国や香港がぐっと近くなりました。まさに徳島の国際化に向けた大きな一歩です。修学旅行などを通じて若者が海外を体験することで、「日本の良さ」や「徳島の魅力」を再認識する機会にもつながります。

まずは県民や企業の皆さまに国際定期便をご利用いただくことで、子どもたちにも「国際化への意識が自然と芽生えていくはず。この環境を未来に向けて持続していくためにも、ぜひ積極的なご活用をお願いいたします。



「済州平和フォーラム2025」に徳島少年少女合唱団が招かれました。

■知事 教育は未来そのもの。県では、公平な受検機会を確保するための学区制見直しをはじめ、英語教育や国際交流、STEAM教育の推進などを通じて、世界に通用する人材の育成に取り組んでいます。

また、今年4月からは県立学校47校で、年間3日間の休日を取得できる「ラーニングの日」を導入しまし

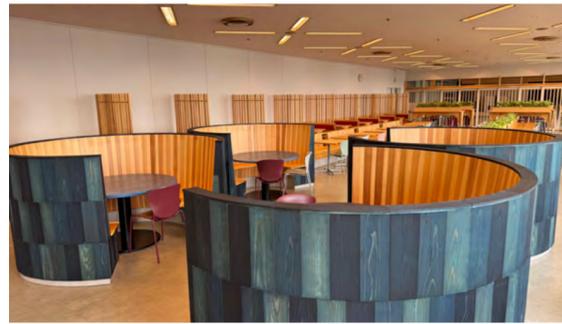
への挑戦です。私は職員に「常にバットを振れ」と伝えています。空振りしても構わない。いちばんよくないのは、何もせず見送ることです。

県庁を改革し 選ばれる職場に

■平石 知事が就任されてから、県庁の雰囲気が大きく変わりましたね。職員の方々の服装や表情を見ても、生き生きと働かれている様子が伝わってきます。

■知事 今の時代「県庁も」選ばれる職場」でなければなりません。働き方やワークライフバランスが問われる中で、県庁もまた、リラックスできる空間や五感を刺激する職場環境へと進化させていく必要があると考えています。

その取り組みの一つが、万代庁舎11階にある食堂・展望者ロビーのリニューアルです。昼食をとるだけの場でもあったいなという発想から、会議や懇親会、県民の皆さまとの交流にも活用できる「開かれた空間」として整備しました。



リニューアルした万代庁舎11階食堂「CO-CAGEキッチン」。

た。ご家族で休暇を取り、気軽に国内外へ出かけることで、多様な学びの機会を得ていただければと思います。

■平石 徳島の経済についてお聞かせください。

■知事 徳島のGDPは約3・3兆円ですが、1人あたりの県民所得は全国9位（R3）です。グローバル企業があり、製造業の生産性は全国2位を誇ります。

一方、本県には小規模事業者の生産性の低さや後継者不足といった課題もあります。こうした企業が連携し、再編を進めることで、大企業や世界と戦える力が生まれると考えています。

また、県では昨年、最低賃金を引き上げ、一昨年まで全国ワースト2位だった順位を27位まで改善しました。実



順位	県名	金額
1位	徳島	84円
2位	岩手	59円
2位	愛媛	59円
4位	島根	58円
5位	鳥取	57円
全国平均	—	51円

■平石 こんなおしゃれな県庁なら、県民も誇りを持てますね。

■知事 最先端企業では、社員がそれぞれタブレットを持ち、好きな場所で自由に働くスタイルが一般的になりつつあります。大切なのは、結果を出せば、やり方は問わない」という柔軟な考え方だと思っています。

今後、職員一人ひとりがやる気をもって働けるよう、庁内の環境づくりをさらに進めていきます。

「目的意識」が 組織を強くする

■平石 県庁では中途採用が増えていますね。

■知事 今年度は40人ほどを中途採用しました。国の官僚や他県の県庁職員、政令指定都市の職員などが含まれています。また、徳島の変化や進化に共感して入庁された、民間出身の方々も多数いらっしゃいます。

私が職員によく伝えているのは、「方法論と目的論を取り違えないようにしよう」ということです。大切なのは、あくまでも「目的」です。これまでのやり方にとらわれず、目的に応じて柔軟に方法を見直していく。そうした姿勢が、職員のさらなる成長につながると考えています。

■平石 県庁のチームも、どんどん強くなっているんですね。

私がお聞かせください。

■知事 今後の展望についてお聞かせください。

■知事 今後10年が勝負となる「地方創生戦国時代」を生き抜くため、「ずっと居りたい」「いつも帰りたい」「みんな行きたい」という将来像を掲げました。その実現に向け、「安心度」「魅力度」「透明度」の3つを柱としていきます。

質賃金は直近8カ月連続でプラスとなり、外国人や障がいのある方、高齢者、大学生アルバイトなど、さまざまな人の働きやすさにもつながっています。

「攻め」の姿勢をさらに磨きながら

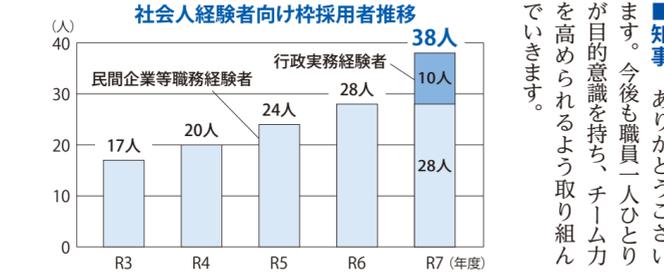
■平石 今後の展望についてお聞かせください。

■知事 今後10年が勝負となる「地方創生戦国時代」を生き抜くため、「ずっと居りたい」「いつも帰りたい」「みんな行きたい」という将来像を掲げました。その実現に向け、「安心度」「魅力度」「透明度」の3つを柱としていきます。

防災・医療・保育・教育によって「安心度」を支え、国際定期便や大型イベントで「魅力度」を高める。そして、透明性と結果にこだわる経営感覚が「透明度」につながる

進化する徳島—2年間の取り組み—

- 「最低賃金」が大きくアップ! 働く場としての本県の魅力が向上。
- 「こども食堂」箇所数が46%増! R5年度からR6年度の増加率「全国1位」に。
- 「緊急防災・減災事業債」の活用を促進! 住民の命を守る。市町村発行額の伸びが対前年度比「全国1位」に。
- 「国際定期便」の就航! 香港、韓国との間に、年間を通じた「国際定期便」が就航。
- 官民一体の「地域商社」を設立! 県産品の販路開拓や県内企業の海外進出を支援する「官民一体のワンストップ組織」。
- 「徳島おどりフェスタ」の開催! 子どもの夢を広げるイベントに、8万人の大観衆が集結。
- 新たな「職員採用枠」を創設! 行政や民間から、経験豊富な職員を積極的に採用。



職場での熱中症対策が義務化されています!

令和7年6月1日から、労働者の熱中症の重篤化を防止するため、「体制整備」「手順作成」「関係者への周知」について、事業者に対して義務付けられることになりました。適切な熱中症対策の実施をお願いいたします。

●中小企業の事業主、安全・衛生管理担当者向け働く人の今すぐ使える「熱中症ガイド」はこちら▶

厚労省作成「熱中症ガイド」表紙

〔問〕●県労働雇用政策課 ☎088-621-2345 ☎088-621-2856 ●県健康寿命推進課 ☎088-621-2223 ☎088-621-2841 ●徳島労働局労働基準部健康安全課 ☎088-652-9164 または、各労働基準監督署 (徳島・鳴門・三好・阿南)

新次元への挑戦—未来への展望—

- 「STEAM教育」や「国際教育」を推進!
- 地域のニーズに応じた医療提供体制の確保!
- 南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備える「防災・減災対策」をさらに加速!
- 県都のにぎわい創出に向けた新ホールやアリーナを実現!
- 新たな国内外への「販路開拓」に挑戦!
- 蓄電池関連産業の集積に向け「徳島バッテリーバレイ構想」を推進!
- インバウンドやアウトバウンドを促進し「人流の活性化」を実現!
- 変革ファーストの人材育成と組織づくりを推進!

クイズ&プレゼント

「第35回〇〇技術および科学の国際シンポジウム徳島大会2025年」〇に入る文字は何でしょうか。

●プレゼント スペースすだちくんぬいぐるみ 高さ約12cm×幅約9cm ボールチェーン付き 抽選で5名様 ※プレゼントは1個です。

●応募締切 7月18日(金) 必着 6月号の正解は「食育」でした。

●応募方法 答え、住所、氏名、年齢、感想、取り上げて欲しいテーマなどを記入の上、はがき(宛先は「県知事戦略局クイズ&プレゼント係」)、Eメール(宛先は表紙下部に記載)、または県公式LINEのメニューから応募ください。

応募はこちら